



「こどもの読書週間」 イベント

講演会

図鑑フームの火付け役

「くらべる図鑑」の魅力

今や図鑑は調べるだけのものではなく、子どもも大人も見ても楽しむものに進化しました。魅力いっぱいの図鑑はどのように作られているのか、小学館「くらべる図鑑」の編集者がお話しします。

日時：4月22日(日) 13:30~15:00

ひろの あつし

講師：廣野 篤 氏 (小学館「くらべる図鑑」編集者)

会場：4階 視聴覚ホール

定員：200名

申込不要。直接会場へお越し下さい。



沼津市立図書館 開館25周年・ 沼津文庫設立130周年 記念展示

現沼津市立図書館が開館して今年で25周年、県内初の公立図書館として沼津文庫が誕生して130周年を迎えたことを記念し、沼津の図書館の歴史について展示します。

日時：4月26日(木)~6月5日(火)

※月曜日と5月2日(水)は休館、

ただし4月30日(月・祝)は開館

9:30~18:30

※ただし金曜日は21:00まで、

土・日・祝日は17:00まで

会場：4階 展示ホール 協力：明治史料館



文芸講座

要申込

しずおか県民カレッジ
連携講座です

落語から見える江戸の人々の人間模様と日本らしさ

～落語を楽しみながらコミュニケーション力を磨く～

江戸の文化や暮らしをレクチャーしながら、落語(動画)を鑑賞していただきます。

また、落語の笑いを活用した健康づくりや脳活などについてもお話しします。

第1回 6月 1日(金) 18:45~20:45 落語でも江戸の町でもコミュニティの中心人物 ~世話好き? 大家、物知り? ご隠居

第2回 6月15日(金) 18:45~20:45 江戸は商売、サービスの事始めの時代 ~商家の旦那、番頭、丁稚の1日

第3回 6月29日(金) 18:45~20:45 戦のない平和な時代の器用で清貧の武家たち ~庶民にも愛された奉行やお侍

ぬのむら あつし

エ

講師：布村 敦 氏 (らくご笑クササイズ指南役)

会場：4階 視聴覚ホール 定員：各回 200名

対象：おおむね小学校高学年以上 (小学生の場合は保護者同伴)

申込み：5月8日(火) 9:30から電話または図書館カウンターにて受付 (先着順)



○いずれも入場無料です。 ○広報めまづ・館内ポスター・チラシ等もあわせてご覧ください。
○公共交通機関でのご来館にご協力をお願いします。



人気ランキング

2017年1月～12月の間に利用の多かった一般図書の人気作品をご紹介します。



ベストリクエスト(小説・エッセイ)

No.1
予約回数232
『蜜蜂と遠雷』
恩田 陸/著
幻冬舎

No.2
予約回数140
『九十歳。何がめでたい』
佐藤 愛子/著
小学館

No.3
予約回数138
『コンビニ人間』
村田 沙耶香/著
文藝春秋

- No.4 「騎士団長殺し 第1部」村上春樹/著(新潮社)
No.5 「コーヒーが冷めないうちに」川口俊和/著(サンマーク出版)
No.6 「マスカレード・ナイト」東野圭吾/著(集英社)
No.7 「君の膵臓をたべたい」住野よる/著(双葉社)
No.8 「騎士団長殺し 第2部」村上春樹/著(新潮社)
No.9 「ツバキ文具店」小川糸/著(幻冬舎)
No.10 「月の満ち欠け」佐藤正午/著(岩波書店)

『蜜蜂と遠雷』は現在も予約者多数で、書架に並ぶのはまだまだ先の様です。

ベストリーダー(小説・エッセイ)

No.1
貸出回数320回
『火花』
又吉 直樹/著
文藝春秋

No.2
貸出回数228回
『羊と鋼の森』
宮下 奈都/著
文藝春秋

No.3
貸出回数187
『コンビニ人間』
村田 沙耶香/著
文藝春秋

- No.4 「九十歳。何がめでたい」佐藤愛子/著(小学館)
No.4 「人魚の眠る家」東野圭吾/著(幻冬舎)
No.6 「祈りの幕が下りる時」東野圭吾/著(講談社)
No.6 「村上海賊の娘 上巻」和田竜/著(新潮社)
No.8 「蜜蜂と遠雷」恩田陸/著(幻冬舎)
No.9 「村上海賊の娘 下巻」和田竜/著(新潮社)
No.10 「虚ろな十字架」東野圭吾/著(光文社)

芥川賞や直木賞、本屋大賞に/ミネートされた作品が多く、どの作品もまだまだ人気があります。東野圭吾強し!! 50位中、14作品がランクインしています!

ベストリーダー(小説・エッセイ以外の一般図書)

No.1 貸出回数102回
『フランス人は10着しか服を持たない』
ジェニファー・Lスコット/著 大和書房

- No.2 「人生がときめく片づけの魔法」近藤麻理恵/著(サンマーク出版)
No.3 「人生がときめく片づけの魔法 2」近藤麻理恵/著(サンマーク出版)
No.4 「どんなに体がいたいんでもベターっと開脚できるようにするすごい方法」Eiko/著(サンマーク出版)
No.5 「最後の秘境東京藝大 天才たちのカオスな日常」二宮敦人/著(新潮社)

テレビ番組でも話題になった作品が多く利用されました。ベスト3の作品は続編も人気です。

ベストリーダー(郷土資料)

*「ぐるぐるマップ」、「るるぶ情報版」、「まっぶるマガジン」、「ぴあ」等のガイドブックは除きました。

No.1
『沼津・三島・清水町 町名の由来』
辻 真澄/著 静岡新聞社

No.2
『沼津の基礎を築いた 江原素六ものがたり』
江原素六先生顕彰会/編集
Iコー沼津事業所

No.3
『めまづ昔ばなし 第一集』
めまづ社会科研究会/著
蘭契社書店

調べ学習でよく利用される作品が上位に入りました。江原素六や白隠はとくに人気があります。沼津出身の方の著作や、地元の書店が出版した作品も多く利用されています。

新刊や話題になったものばかりではなく、古い資料の利用が多いのも郷土資料ならではの。

郷土資料室には... 知っているようで知らない地元の魅力を詳しく教えてくれる資料がいっぱい。



地域に息づく豊かな歴史や文化、風景、産業など... 知れば知るほどますます沼津が好きになります。そう!「ラフライブ」だけじゃないんです! とんとん郷土資料を利用してください。



- No.4 「目でみる沼津市の歴史」小野真一/著(緑星社出版部)
No.5 「写真アルバム 沼津・三島の昭和」四方一彌/監修(いせ出版)
No.6 「めまづ昔ばなし 第二集」めまづ社会科研究会/著(蘭契社書店)
No.7 「井伊直虎の城 今川・武田・徳川との城取り合戦」小和田哲男/監修(小学館)
No.8 「沼津市史 通史編 原始・古代・中世」沼津市史編さん委員会/[ほか]編集(沼津市)
No.8 「白隠禅師の足跡」上村貞嘉/著(淡交社)
No.8 「見て感じるかわいい禅画 白隠と仙厓」内田啓一/監修(三オックス)
No.8 「見る読む沼津歴史年表」友野博・瀬川裕市郎・樋口雄彦/編著(羽衣出版)
No.8 「江原素六(駿河新書1)」辻真澄/著(英文堂書店)
No.9 「白隠ものがたり 夜船閑話に寄せて」おおいみつる/著(春秋社)
No.9 「しずおか妖怪・奇談を訪ねて 現代に残る不思議スポット」(静岡新聞社)
No.9 「江原素六ってどんな人?」(沼津市明治史料館)
No.10 「沼津藩(シリーズ藩物語)」樋口雄彦/著(現代書館)
No.10 「かわいい禅画 白隠と仙厓」矢島新/著(東京美術)
No.10 「沼津市史 別編 絵図集」沼津市史編さん委員会/[ほか]編集(沼津市)
No.10 「企画展図録 1931-1945 沼津と戦争」(沼津市明治史料館)

3階AV DVD (220)

『黒部の太陽』



熊井 啓/監督
木本 正次/原作
三船 敏郎/主演
石原 裕次郎/ほか出演
ポニーキャニオン
(2013年9月)

昭和30年代、不可能と言われた黒部ダム建設に、命を賭けた男たちのドラマを、豪華キャストにより、かつてないスケールで描くスペクタクル超大作!



おすすめ資料 ご案内



3階AV CD (82)

『ムジカ・ピッコリーノ/ピッコリーノ号の冒険 I』

ドットーレ(浜野謙太)ほか/演奏
日本コロムビア(2016年11月)

NHK Eテレにて放映の人気音楽教育番組「ムジカ・ピッコリーノ」初期シーズンが待望のCD音源化。ムジカ・ピッコリーノの世界観を楽しんで下さい。



1階一般 (913.6/イガ)

『あの子が結婚するなんて』



五十嵐 貴久/著
実業之日本社(2017年5月)

親友の美字の結婚が決まった。友人としてはうれしいけれど、モヤモヤする気持ちもあって、複雑な心境の七々末。

フリスメイドを頼まれて、新郎側の親戚英也と良い雰囲気になるけれど... 無事に美字の結婚式を迎えられるのか?

郷土ゆかり (913.68)

『幕末暗殺!』

鈴木 英治・秋山 香乃/ほか著
中央公論新社(2018年1月)

激動の幕末における数々の暗殺事件を、沼津ゆかりの鈴木英治や秋山 香乃を含む実力派作家7人が、創造力と大胆な推理で書き下ろす興奮必至の短篇競作です。



1階一般 (759)

『辻村寿三郎作品集 真田十勇士』(2016年11月)

『辻村寿三郎作品集 新八犬伝』(2017年1月)

辻村 寿三郎/人形 高木 素生/写真 復刊ドットコム

人形作家辻村寿三郎が手掛けたNHK人形劇の作品集。これぞ寿三郎という妖艶な人形たちが集められた本です。



1階児童 (E/タカバ)

『もうちょっともうちょっと』

きむらゆういち/文 高島 純/絵
福音館書店(2018年2月)

りんごが木から落ちて、岩の穴のなかに転がってしまいました。おなかをすかせたコフタが手を伸ばしますが、届きません! もうちょっと、もうちょっとが楽しい絵本です。



2階参考 (903.1)

『作家名から引く短編小説作品総覧』

日本のSF・ホラー・ファンタジー』

日外アソシエーツ(2018年1月)

2009年1月～2017年9月刊行の図書1308点に収録された、日本のSF・ホラー・ファンタジー作品8383点を1025人の作家別に掲載。短編小説を探す時に役立ちます。



2階一般 (913.52/イハ)

『RE:STORY 井原西鶴』

井原 西鶴/原作
西鶴研究会/編
笠間書院(2018年1月)

井原西鶴の作品の持つ魅力はそのままに、現代語を使って読みやすい本文となっています。解説や読書案内もあるので西鶴ワールドを余すことなく楽しめます。



2階郷土 (K900)

『図録 光治良と林芙美子展 (第2回)』

沼津市芹沢光治良記念館/編集
沼津市芹沢光治良記念館(2017年11月)

昭和10年から昭和16年にかけて、芹沢光治良が林芙美子に送った書簡を掲載。二人の文学者の交流の記録、読み解いてみませんか?



地名の由来(その8)

＝旧静浦村地区(1)＝

しずうらむら 静浦村

明治22年(1889)～昭和19年(1944)の駿東郡の自治体名。

駿河湾に面した入り江が多く、天然の良港を備えた地域である。

明治22年町村制施行の際、志下・馬込・獅子浜・江の浦・多比・口野の六カ村がまとまり、波の静かな浦に面しているところから静浦村と称したとされている。

昭和19年(1944)沼津市と合併し、静浦村当時の大字はそのまま沼津市の大字となり、現在に至っている。

しげまごめ 志下・馬込

志下は狩野川下流の左岸にあり、北は島郷に接し、西は駿河湾に面している。

この地域が狩野川の扇状地の末端部にあるという意味で、昔は洲下と称していたが、訛って志下になったという説や千本砂嘴との関係から嘴下と称していたが、その後志下とあて字されたという説などがある。

馬込は鷲頭山の西麓にあり、北は志下に接している。

『駿東郡誌』に「馬込は治承4年(1180)源頼朝黄瀬川在陣の時、馬を此邑に曳き籠めしを以て其名を得、後籠を込に作る」と記されている。地名は、まわりをとり囲んで馬を入れて置いた牧場があったことに由来すると考えられている。

志下・馬込は、江戸時代の当初は幕府直轄領であった。

安永6年(1777)沼津藩成立に伴い藩領となり、慶応4年(1868)駿府藩領となった。

－ 参考文献 －

- ◆『角川日本地名大辞典 22 静岡県』角川書店 1988
- ◆『沼津・三島・清水町 町名の由来』辻 真澄/著 静岡新聞社 1992
- ◆『静岡県駿東郡誌』静岡県駿東郡役所/編 長倉書店 1972
- ◆『日本歴史地名大系 22 静岡県の地名』平凡社 2000

図書館カレンダー



4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 	4	5 	6	7
8 	9	10 	11	12 	13	14
15 	16	17 	18	19 	20	21
22	23	24 	25	26 	27	28
29	30					

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1 	2	3 	4 	5
6	7	8 	9	10 	11	12
13 	14	15 	16	17 	18	19
20 	21	22 	23	24 	25	26
27	28	29 	30	31		

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5 	6	7 	8	9
10 	11	12 	13	14 	15	16
17 	18	19 	20	21 	22	23
24	25	26 	27	28 	29	30

開館時間

火・水・木 9:30～18:30
 金 9:30～21:00
 土・日・祝・振替休 9:30～17:00

■ = 休館日 ○ = 祝日(開館しています)

「ぬまづ火曜上映会」のお知らせ



毎週火曜日14時から、映画の上映会を開催します。

上映タイトル等、詳細は図書館HPをご覧ください。

「おはなしの会」



1階児童室
おはなしの部屋へ来てね!

4月からかわります!

土曜日のおはなし会は **午前11時** 開始です
 ちいさなおはなし会は **毎週木曜日** 開催です(祝日・第5木曜はおやすみします)



グループあおし
毎月第1土
11:00～
どなたでもどうぞ!



アンの部屋
毎月第2土
11:00～
どなたでもどうぞ!



ラディッシュ
毎月第3土
11:00～
どなたでもどうぞ!



おはなしふくろう
毎月第4土
11:00～
どなたでもどうぞ!



あかずきんちゃん
毎月第3日
14:00～
どなたでもどうぞ!



ちいさなおはなし会
毎週木
10:30～
0～3歳対象



読み犬のおはなし会
毎月第2日
11:00～
どなたでもどうぞ!